

## ① 学校設備について

インクルーシブが進められる学校施設において、バリアフリートイレの整備は不可欠であります。またフェムテックが推奨される中で、学校設備にも温水洗浄便座の設置が強く求められています。

文部科学省は、令和7年度までに公立学校のトイレの洋式化を95%まで整備するとの目標を掲げています。

そこで、本町小中学校のトイレの洋式化の現状と今後の計画について質問します。

## ② 下水道処理最終処分について

下水道は、主に雨水および汚水を地下水路などで集めた後に、公共用水域に排出するため、多くは自治体が浄化などの処理を行い国が定めた基準に達した後に排水する。その処理過程で出る廃棄物を最終処分するが、近年この廃棄物をさまざま利用する自治体が出てきたようです。

いくつか例を挙げれば、神戸市では下水処理過程で発生する汚泥から肥料の原料となるリンを回収し、輸入リンが高騰する中で国産リンとして注目されている。佐賀市では、2011年度から焼却処分していた汚泥を堆肥にして販売しているようです。

本町でも廃棄物を有価物に変える処理を目指すことができないか、質問します。